

第3次南島原市集中改革プランの実績報告（概要）

令和2年7月
総務部財政課

1. 第3次南島原市集中改革プランの概要と実績

【期間】平成28年度～令和2年度（平成27年策定）

【基本項目とその背景】

基本項目	主な背景
選択と集中による行政運営	・合併算定替え終了と交付税の段階的縮減
健全な財政運営	・公共施設の適正管理
効率的な組織の構築と職員力の向上	・地方分権の推進による地域間競争の激化 ・複雑化、高度化する行政ニーズへの対応

【取組項目数】33項目（平成29年度に1項目追加）

基本項目	計画 項目数	実施項目数			
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
選択と集中による行財政運営	11	11	11	11	11
健全な財政運営	17	16	17	17	17
効率的な組織の構築と職員力の向上	5	5	5	5	5

【財政効果額の内訳】（上段：計画／下段：実績）

（単位：千円）

取組項目	財政効果額				
	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計
遊休財産の利活用	5,000	5,000	5,000	5,000	20,000
	14,859	984	14,371	6,333	36,547
広告料収入の確保	1,860	1,890	1,920	1,950	7,620
	1,045	1,585	1,309	1,137	5,076
ふるさと応援寄付の推進	300,000	400,000	300,000	350,000	1,350,000
	208,122	186,411	379,402	922,605	1,696,540
時間外勤務の縮減	5,000	5,000	5,000	5,000	20,000
	△35,174	858	△6,573	△12,005	△52,894
学校給食センター集約による経費縮減（累計）	725	3,725	1,725	4,725	4,725
	△3,572	△2,266	8,331	9,889	9,889
定員適正化計画の推進	70,000	80,500	98,000	143,500	392,000
	70,000	94,500	112,000	157,500	434,000
計	382,585	496,118	411,645	510,175	1,794,345
	255,280	282,072	508,840	1,085,459	2,129,158

2. 第3次南島原市集中改革プランでの主な取組項目実績

(1) 選択と集中による行財政運営

① 事務事業の見直し

I. 政策評価による事務事業の総点検 【令和元年度実績報告 P.1】

- ・ 総合計画（基本計画）に掲げた主要事業及び市のすべての予算計上事業について、所管課による事務事業評価を実施し、政策評価会議による2次評価を実施（H28→1,469事業、H29→1,286事業、H30→1,333事業、R1→1,350事業）
- ・ 施策等再編提案制度（スクラップ・アンド・ビルド）を実施（H29～）
- ・ 「主要事業及び予算計上事業評価」結果の公表（公表率 100%）

II. 電子入札の導入と制限付き一般競争入札の拡大 【令和元年度実績報告 P.2】

- ・ 電子入札の本格運用を開始（H29～）
 - ▶ 制限付一般競争入札
 - ⇒ 電子入札（総合評価落札方式、特定建設工事共同企業体を除く）
 - ▶ 指名競争入札 ⇒ コンサルのみ電子入札
- ・ 制限付き一般競争入札の市内業者及び市外業者へ定着

III. ステーション収集ごみの種類拡大 【令和元年度実績報告 P.2】

- ・ 不燃ごみ収集業者との意見交換や自治会長への説明会、自治会に対する説明会などにより制度周知（H28）
- ・ 有家町～加津佐町までの6町で、不燃ごみ（缶・ビン・ガラス陶器類・金属類）のステーション収集の実施（H29～）

IV. 水道料金のコンビニ収納システム導入の検討 【令和元年度実績報告 P.3】

- ・ 近隣市の状況を調査（H28）し、債権管理対策に関する検討に併せて検討を実施（H29～R1）
- ・ 口座振替の契約率が高い（R1:90.5%）ことから、採算性の観点からコンビニ収納の導入は見送ることとした。
- ・ 引き続き利便性や収納率の向上、振替手数料の増加、水道料金の見直しなど多方面から検討を実施予定。

② 地域協働の推進、情報の共有化

I. シティプロモーションによる積極的な情報発信 【令和元年度実績報告 P.4】

- ・ パブリシティ活動として、報道機関に対し4年間で682件の情報を投げ込み
- ・ ホームページの多言語化（英語、中国語、韓国語）を実施（H28）
- ・ ショートフィルムを作成（H30～R1）（夢 100万回再生 記憶の灯 70万回再生）
- ・ フェイスブック「おいしい南島原」のいいね数（H26 1,560件 → R1 4,032件）
- ・ ホームページアクセス数（H26 0件 → R1 36,320件）

II. パブリック・コメント制度による政策への市民参加【令和元年度実績報告 P.5】

- ・ 4年間で20件のパブリック・コメントを実施し、39件の意見があった

III. 市民団体との協働の推進【令和元年度実績報告 P.5】

- ・ 「遠藤周作没後20年記念事業～遠藤周作と日野江城～」(故遠藤周作が辿った古道をたどるツアー)への支援(H28)
- ・ 女性目線の地域活性化団体「夢ココプロジェクト」と協働で移住検討者用の南島原市マップ「南島原市やっちゃよかマップ」を作成(H30～R1)
- ・ 口之津地区を元気にする地域活性化団体「口ノ津港の魅力を IKASU 会 くちのつエビス倶楽部」と協働で口ノ津港ターミナルへのイルミネーションの設置やターミナルプレスを発行(R1)

③ 公共施設の適正管理

I. 公共施設等総合管理計画の策定と推進【令和元年度実績報告 P.6】

- ・ 住民アンケートとパブリック・コメントを実施(H28)
- ・ 公共施設等総合管理計画を策定(H28)
- ・ 公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画を策定(R1)

II. 遊休財産の利活用【令和元年度実績報告 P.6】

- ・ 4年間で36,547千円 (内訳) 土地売払 37件 23,579千円
公用車売払 43台 12,968千円

(2) 健全な財政運営

① 財政の健全化

I. 健全な財政指標の維持【令和元年度実績報告 P.8】

- ・ 実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率を0%で維持、実質公債費比率を減少
- ・ 基金積立を3,476,010千円実施(4年間)、繰上償還を10,145,500千円実施(4年間)

② 債権の適正管理

I. 滞納徴収強化【令和元年度実績報告 P.9～12】

- ・ 市税及び各種料金等の滞納者に対する徴収を強化

○徴収実績

▶ 市税等(市民税、国保税、固定資産税など)	378,571千円
▶ 生活安定再建資金(雲仙普賢岳噴火災害)【過年度分】	6,275千円
▶ 保育料【過年度分】	21,001千円
▶ 住宅使用料金【過年度分】	20,426千円
▶ 水道料金【過年度分】	34,696千円
▶ 保護費返還金【過年度分】	2,766千円

③ 自主財源の確保

I. 広告料収入の確保【令和元年度実績報告 P.13】

- ・ 広報誌、ホームページなどを民間事業者等の広告媒体として、有料で提供（H28～）
（広報誌広告 1 枠 10,000 円、ホームページバナー広告 1 枠 5,000 円など）
- ・ 広告掲載件数 546 件（4 年間）
- ・ 広告料収入 5,076 千円（4 年間）

II. ふるさと応援寄附の推進【令和元年度実績報告 P.13】

- ・ 市窓口のほか、4 つのふるさと納税ポータルサイトにおいて、寄附の受付
（ふるさとチョイス、楽天、ANA、さとふる、ふるナビ←R2.5～）
- ・ 県人会やイベント、民泊利用者等へのPR（H28～29）やニュースサイトへの広告掲載
（H28）、有名雑誌への無償掲載（R1）を実施
- ・ 地域おこし協力隊や商工会を通じて、市内業者へ返礼品の依頼（H29～30）
- ・ 寄附件数 113,433 件（4 年間）
- ・ 寄附金額 1,696,540 千円（4 年間）

④ 歳出の抑制

I. 時間外勤務の縮減【令和元年度実績報告 P.15】

- ・ ノー残業デーの実施とノー残業デーに残業する際の報告の徹底（H28～）
- ・ 恒常的に時間外が多い部署への人事異動による増員（H30～R1）
- ・ 災害への対応や新規事業への取組により、目標未達（H28～）

II. 地球温暖化防止に向けた取組の推進【令和元年度実績報告 P.16】

- ・ 県下一斉ノーマイカー&エコドライブウィークへの参加（H28～）
- ・ 市のノーマイカー&エコドライブウィークの実施（H30～）
- ・ 庁舎から排出されるペットボトルキャップを回収し、イオン九州に贈呈（約 680kg/4 年間）（H28～）
- ・ 庁内の節電対策の強化として、「照度の確認」、「待機電力の削減」「電化製品の使用自粛」等を実施（H28～）

III. 学校給食センター集約による経費削減【令和元年度実績報告 P.17】

- ・ 累計財政効果額は、9,889 千円（4 年間）
- ・ 食物アレルギー児童等への対応により、当初計画した人員の削減が厳しい状況

(3) 効率的な組織の構築と職員力の向上

① 効率的な組織の構築

I. 定員適正化計画の推進【令和元年度実績報告 P. 18】

項目		年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
職員数 (人)	計画		460	457	452	439
	実績		460	453	448	435
財政効果額 (千円)			70,000	94,500	112,000	157,500

※財政効果額は H26 年度 (480 人) と比較し、新規採用職員の平均給与 350 万円として算出

II. 将来を見据えた組織への見直し【令和元年度実績報告 P. 18】

- ・ 各部局へのヒアリング (H28) による組織課題等や、近隣市の情報収集 (H29) を参考に、「機構組織の改編・庁舎再配置計画」を策定 (H30)
- ・ 複数年分の超過勤務状況や各部局へのヒアリングに基づき、人員配置を見直し (H29)、組織改編に反映 (H30)
- ・ 「機構組織の改編・庁舎再配置計画」に伴う例規改正を行い、市民に周知し、計画に従い組織改編を実施 (R1～)

III. 窓口業務のあり方【令和元年度実績報告 P. 19】

- ・ 近隣市の情報収集 (H28～29) や、業務委託に関する研修会を実施 (H29)
- ・ 総合案内窓口に関しては、市の機構組織の改編計画の中で検討 (H29～)
- ・ 7 支所から 8 支所にし、支所を統括する市民課を設置 (R2)

② 職員力の向上

I. 人事評価制度の効果的な運用【令和元年度実績報告 P. 20】

- ・ 人事評価制度検討委員会による検討を重ね、人事評価結果の反映方法を決定 (H30)
(管理職：令和 2 年度より処遇に反映、全職員：令和 3 年度より処遇に反映)
- ・ 評価者、被評価者研修の実施 (H28～)

II. 職員の資質向上と意識改革【令和元年度実績報告 P. 20】

- ・ 内部検討 (H28～29) を行い、人材育成基本方針について素案を作成 (H30)
- ・ 素案を人事評価委員会にて協議 (H30) し、職員への意見募集実施後、人材育成基本方針 (改定) を策定 (R1)